

令和5年度11月議会 無所属すみだ 桜井議員への答弁要旨

(区長答弁)

1 山本区政3期目の区政運営について

(1) 区政運営に対する姿勢について

6月議会における所信表明で述べたとおり、今期においては、区政運営の基本姿勢として「区民目線に立った情報発信」、「地域力で課題を解決する人づくり・地域づくり」、「スピード感を持った区政運営」の3点を掲げています。

こうした基本姿勢に基づきながらも、ご指摘のとおり、変化の激しい時代の中で、迅速に区民ニーズに応えられる行政運営に取り組んでいきます。

(2) 墨田区を更に発展させるために何に注目していくのかについて

ご案内のとおり、本区は、これまでの時代背景や社会情勢を踏まえながら、様々な都市基盤を整備するとともに、施策を展開し、発展してきました。

すみだのまちが変化する中であっても、「人と人とのつながり」が生み出す地域力こそが、本区の発展を支える基盤であると考えています。

こうした地域力を踏まえた取組みとして、10月には、SUMIDA INNOVATION CORE がオープンし、スタートアップ企業と区内ものづくり企業との共創による産業集積のアップデートを目指しているところです。

また、来年度には、「つなぐ・つながる」をコンセプトとした新保健施設等複合施設の供用を開始し、区民の健康づくりの拠点として、生涯健康都市の実現に取り組めます。

また、公民学の連携をはじめ、本区ならではの「人と人とのつながり」を活かしながら、更なる魅力向上に取り組んでいきます。

(3) 墨田区の特色について

本区は、歴史的な経緯から、日用品を中心とした近代工業の集積が進み、昭和54年には、全国で初めて「墨田区中小企業振興基本条例」を制定し、産業振興に取り組んできました。

その後、平成24年には東京スカイツリーが開業し、本区の特徴であるものづくりを活かした観光の活性化、「産業と観光の融合」を掲げ、施策を展開してきました。

昨年、中間改定した基本計画においても、こうした考え方を受け継いでおり、新たな動きを取り入れながら、スタートアップ支援を通じたイノベーションの創出や大学のあるまちづくりなど、本区ならではの特色を磨き上げていきます。

(4) すみだの夢について

現基本構想の策定から18年が経過する中で、デジタル化の急速な進歩、感染症や激甚化・頻発化する風水害や震災への対策、少子高齢化に伴う人口構成の変化など、本区を取り巻く社会経済状況は、加速度的に変化を遂げています。

今定例議会において、次期基本構想の策定方針案を報告しますが、区民やすみだに関わる多くの人々の参画のもと、新たな基本構想・基本計画の策定に取り組みながら、すみだの“夢”の実現

に向け、地域力を活かした持続可能なまちづくりを進めていきます。

(5) 主体的な区政運営について

特別区においては、各区の自主性・自立性を尊重しつつも、人口が高度に集中する大都市地域における行政の一体性・統一性の確保の観点から、他区の状況の確認は必要なものであると考えています。

一方で、本区独自の取組として、地域の特性を踏まえ、新型コロナウイルス感染症対策や、物価高騰対策などを、これまでも積極的に推進してきました。

今後も、区民や事業者等を取り巻く環境の実態把握に努め、「区民目線」に立った支援や、地域の特性・実情に応じた、きめ細かい支援を、適時適切に進めていきます。

***本要旨は聞き取りによるもので公式なものではありません。**